

令和 7 年度

研究所本館外壁補修工事

特記仕様書

令和 7 年 9 月

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

1. 工事概要

本工事は、研究所本館の外壁（南面・東面・西面）の補修を行うものである。

2. 施工場所

神奈川県横須賀市長瀬3丁目1番1号

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

3. 工期

契約締結日より令和8年3月27日までとする。なお、工期は、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始休暇は休日として設定している。

4. 工事内容

工 種 名 称	規格・形状寸法	単位	数量	参考数量
研究所本館外壁補修工事				
直接仮設工事		式	1	
外壁下地補修外工事		式	1	
シーリング工事		式	1	
塗装工事		式	1	
発生材処分		式	1	

5. 支給材料、貸与物件及び提供資料

なし

6. 工事仕様

6-1 総則

(1) 本特記仕様書に定めのない事項については、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版、国土交通省大臣官房官庁営繕部）の定めによるものとする。なお、設計図書公表後、共通仕様書の改訂により実施内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議し実施するものとする。

(2) 特記仕様書に記載のない事項については、以下によるものとする。

① J I S : 日本産業規格

② 消防法

③ その他関係する法規、条例及び基準等

(3) 受注者は、本工事の実施に先立ち、現地調査を入念に行い、監督職員と協議のうえ施工計画書を作成し、監督職員に提出するものとする。

6-2 研究所本館外壁補修工事

(1) 直接仮設工事

外部足場、防護シート等の設置及び範囲は、図 08、09 による。(階段足場 2 か所) また、足場組立・解体時に安全確保を行う者を配置すること。

(2) 外壁下地補修外工事

外壁下地処理にあたり以下を実施するものとする。

なお、タイルの張替は 2,000 枚程度を想定している。

1) タイル洗浄 (850m² を想定)

- ・薬液洗浄

2) タイル浮き補修

- ・エポキシ注入又は張替

3) タイルひび割れ補修

- ・張替

4) 目地モルタル補修

- ・目地モルタル補修

5) 太陽光パネル撤去・設置

- ・南面に設置している太陽光パネル(32 枚)の撤去及び再設置を行う。

(3) シーリング工事

シーリングの打ち換えを 2 液型編成シリコン樹脂等にて行うものである。

- ・タイル伸縮目地 (320m を想定)

- ・サッシ廻りシーリング (650m を想定)

- ・西側エントランス(風除室)両サイドから RF までの全面ガラス接合部目地

- ・エントランス(風除室)外部廻り接合部目地

- ・歩廊受けプレート廻り (66 か所を想定)

- ・鉄骨階段外壁接合部プレート廻り

- ・縦樋支持金物シーリング

- ・その他外壁に取りつく金物類の既存シーリングのうち替え

(4) 塗装工事

鉄部等の塗装を行う。

1) 塗装方法は既存焼付塗装の上に二液型ウレタン系塗料 2 回塗りとする。

- ・エントランス(風除室)外部廻りパネル、軒天井及び屋根(2 か所)、縦樋(4 か所)

- ・同上 SSD 扉(両面塗装)(4 か所)

2) 表面の汚れを落とす。

- ・タイル壁面(GL~RF) ステンレス縦樋 (4 か所) (100m 程度)

3) 塗装手順は、ケレン(鉛が含有していた場合は湿式工法とする)、変性エポキシ錆止め及び 2 液型ウレタン樹脂 2 回塗りとする。

- ・鉄骨階段(2 か所)(手すり、踊り場、ササラ他)(120m² 程度)

- ・SD 扉(両面塗装)(2200mm*1000mm) (南面 3 か所)

7. 検査

本特記仕様書のとおり実施されたことの確認をもって検査とする。

8. その他

8-1 契約内容の変更手続きについて

- (1) 本特記仕様書に明記なき事項及び本製作の遂行上疑義が生じた場合は、全て両者が協議のうえ、決定しなければならない。
- (2) 工事内容の変更により、契約金額に変更が生じる場合は、契約変更を適正に行うため、協議及び指示を徹底するとともに、協議書及び指示書等があるものを契約変更の対象とし、履行期間末日までに変更契約を行うものとする。
- (3) 書面を提出する場合の書式（提出部数も含む）は、監督職員と協議のうえ、決定するものとする。

8-2 完成図等

本工事における完成図書は、電子納品によるものとする。

- (1) 電子納品とは、提出書類すべての最終成果(以下「完成図書」という)を電子データで作成し、納品するものである。
- (2) 「完成図書」は、作成した電子データを電子媒体(CD-R 又は DVD-R)で1部提出するものとする。なお、「完成図書」の詳細内容及び電子化については、監督職員と協議のうえ、決定するものとする。
- (3) 特記仕様書及び発注図面の電子データは、発注者が提供する。
- (4) 「紙」による報告書は、製本1部とする。

報告書製本の体裁は、パイプ式ファイル又は紙ファイルを A4 判とし、図表は A3 版折込を標準とする。

(5) 提出書類

- ① 特記仕様書(発注図面含む)
- ② 施工計画書
- ③ 完成図面
- ④ 写真
- ⑤ その他必要な書類

- 8-3 受注者は、本工事遂行中に建物・機械等の当所所有物に損傷を与えた場合は、直ちに監督職員に報告し、受注者の負担で復旧するものとする。

- 8-4 受注者は、資機材の運搬経路については、事前に監督職員の承諾を得るものとする。また、資機材の運搬に当たっては、他の交通の妨げにならないようにしなければならない。

- 8-5 受注者は、工事において当所内で使用する電力、用水を無償で利用できるものとする。

- 8-6 本工事の施工にあたっては、周辺環境対策の一環として、「平成9年7月31日付建設省告示第1536号、改正平成12年12月22日付建設告示第2438号、改正平成13年4月9日付国土交通省告示第487号」により定められた低騒音型・低振動型を使用するものとする。なお、低騒音型・低振動型を使用できない場合は、

監督職員と協議しなければならない。

8－7 本工事において発生した廃棄物は、受注者の責により適正に処分するものとする。

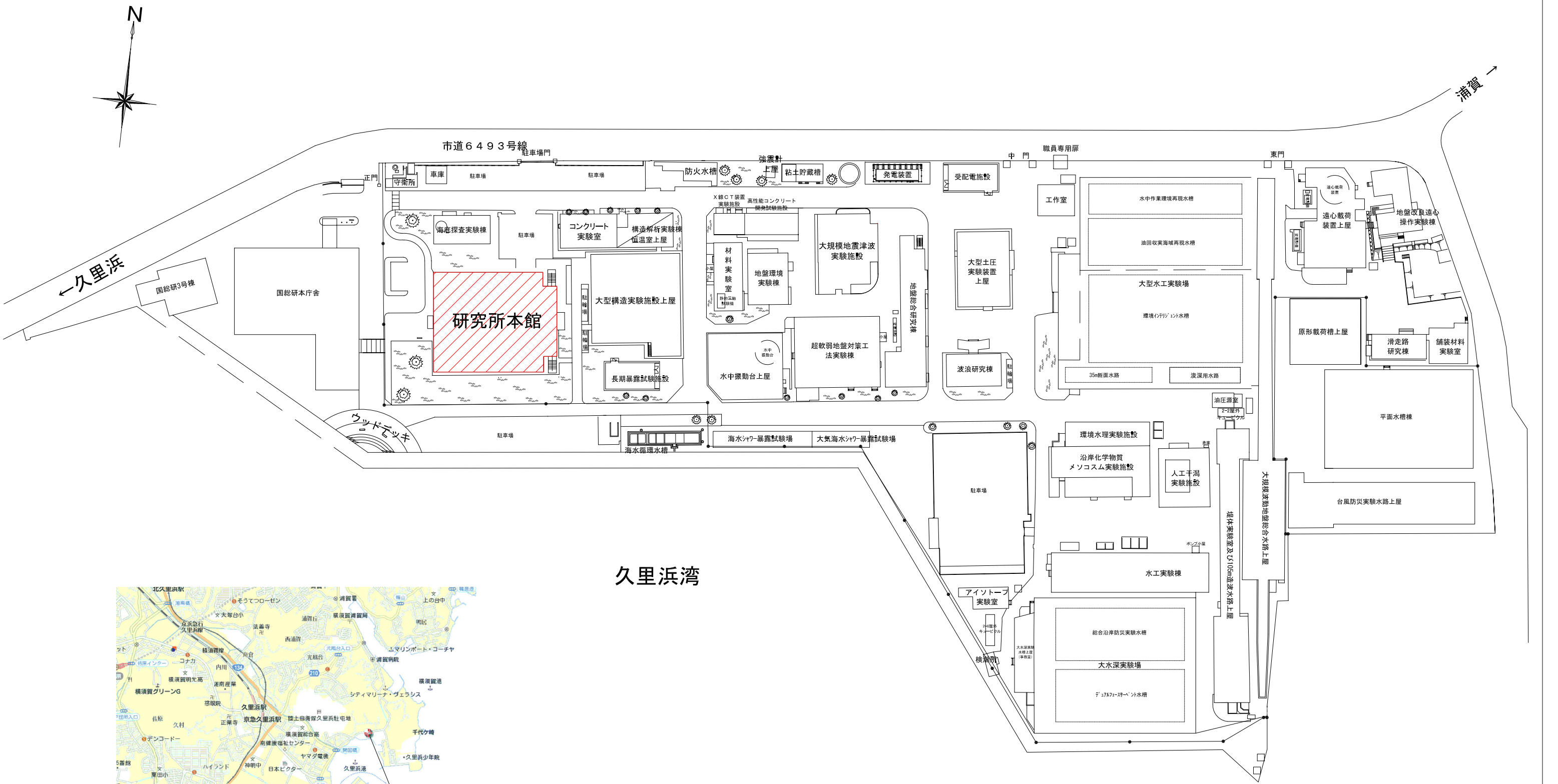
8－8 受注者は、産業廃棄物が搬出される場合には、産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）又は、電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員に提示しなければならない。

8－9 石綿含有物の事前調査・届出等

受注者は、石綿障害予防規則（令和 5 年 4 月改正）に該当する工事を実施する前に、必要な調査及び届出等を行うものとする。その際、事前に届出内容及び費用等を監督職員に報告する。

以 上

港湾空港技術研究所 位置図



案内図

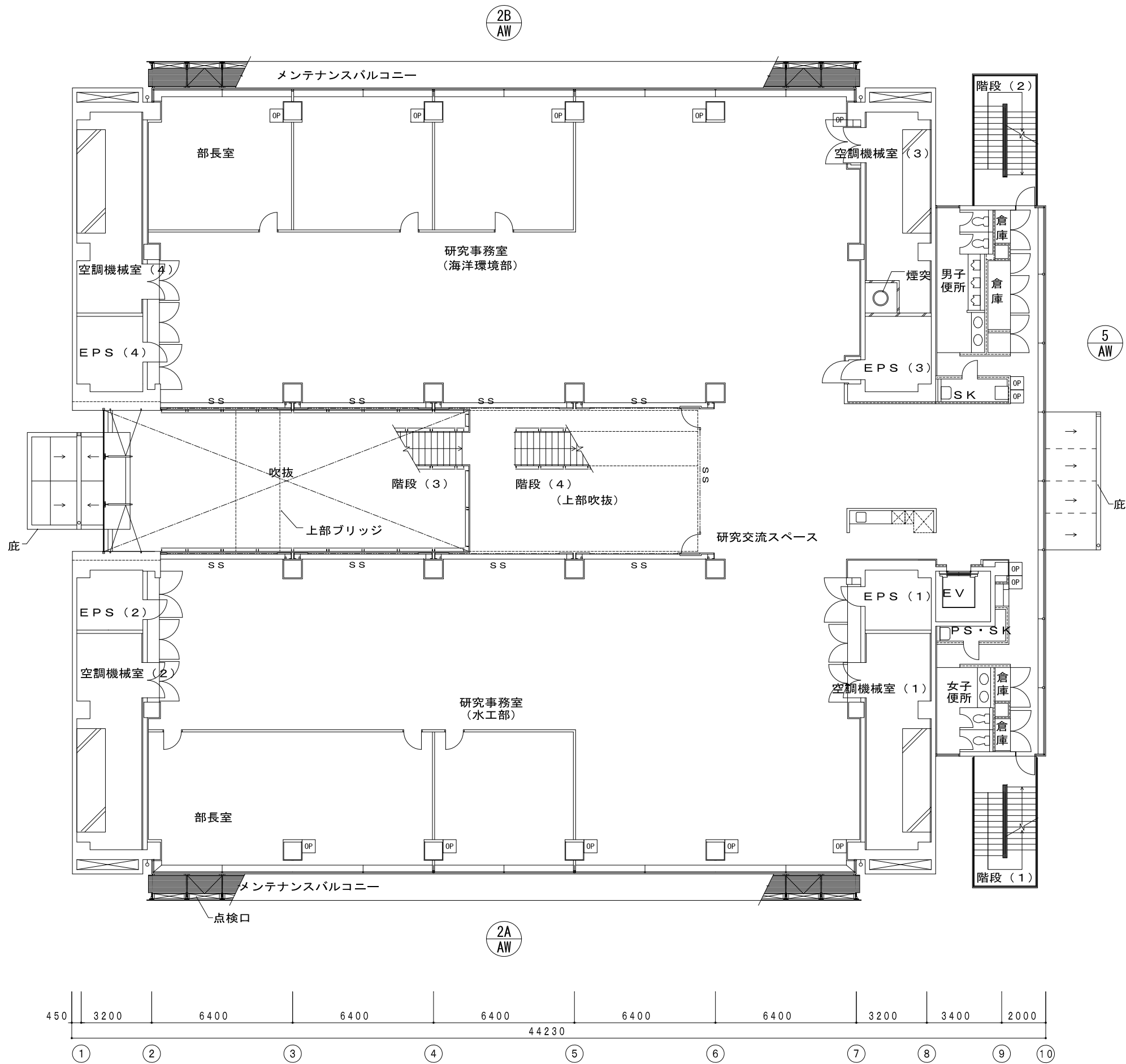
横須賀市長瀬3-1-1
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所

履行場所

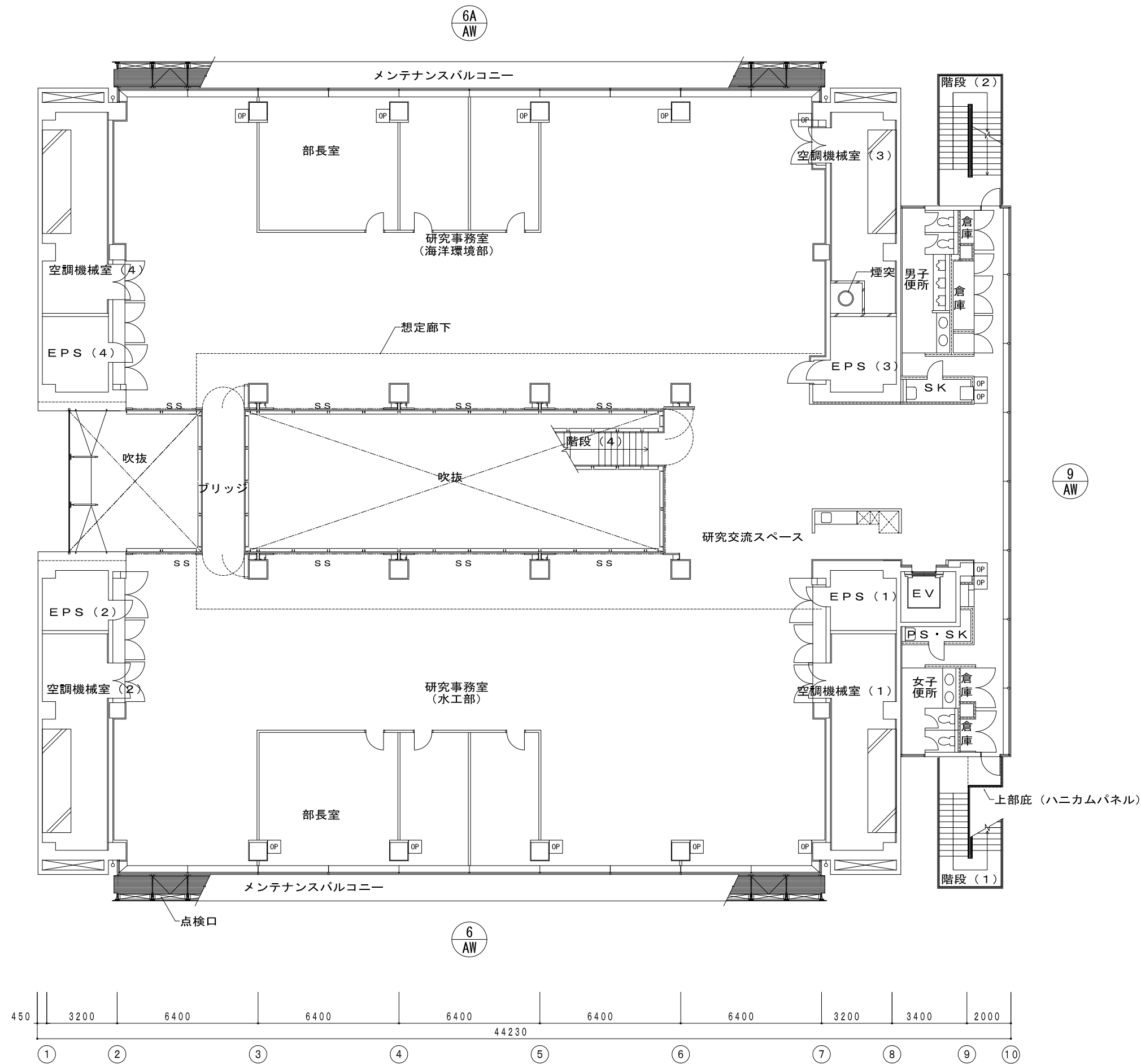
件 名	研究所本館外壁補習工事		
図面名称	港湾空港技術研究所位置図		
縮 尺		単 位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	01
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



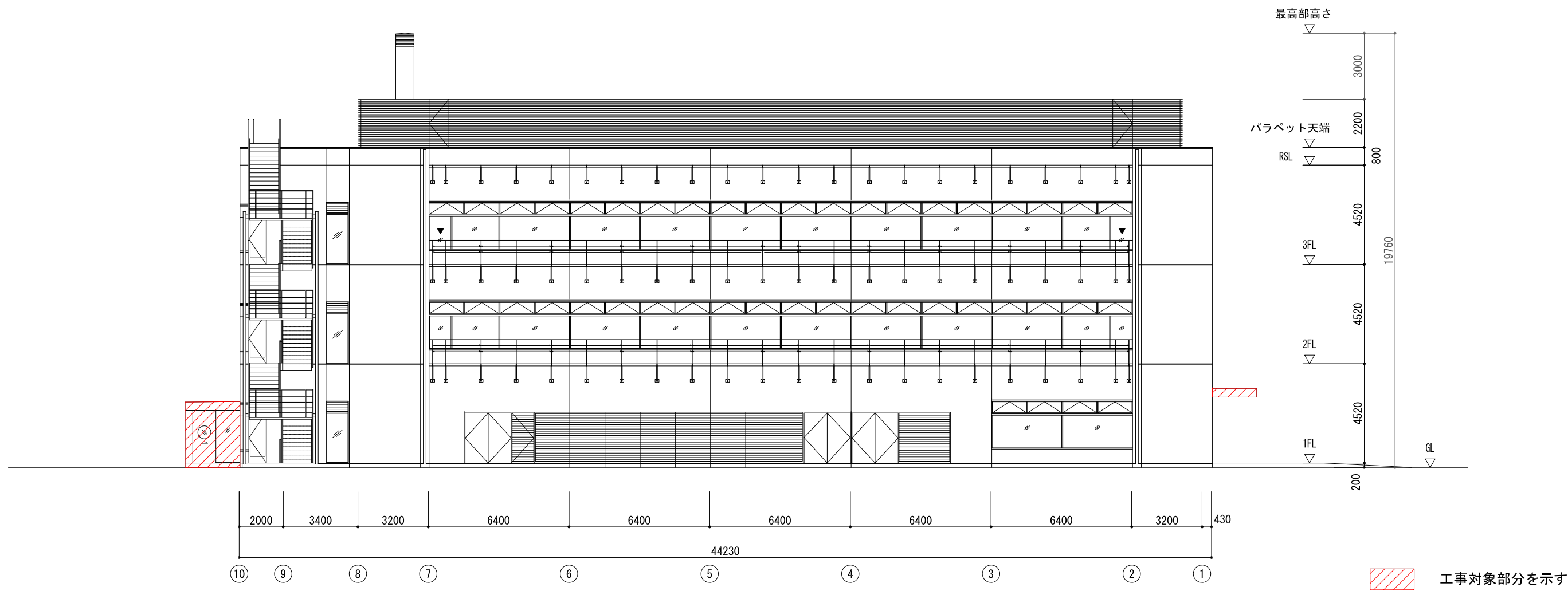
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	1階平面図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年8月	図面番号	02
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



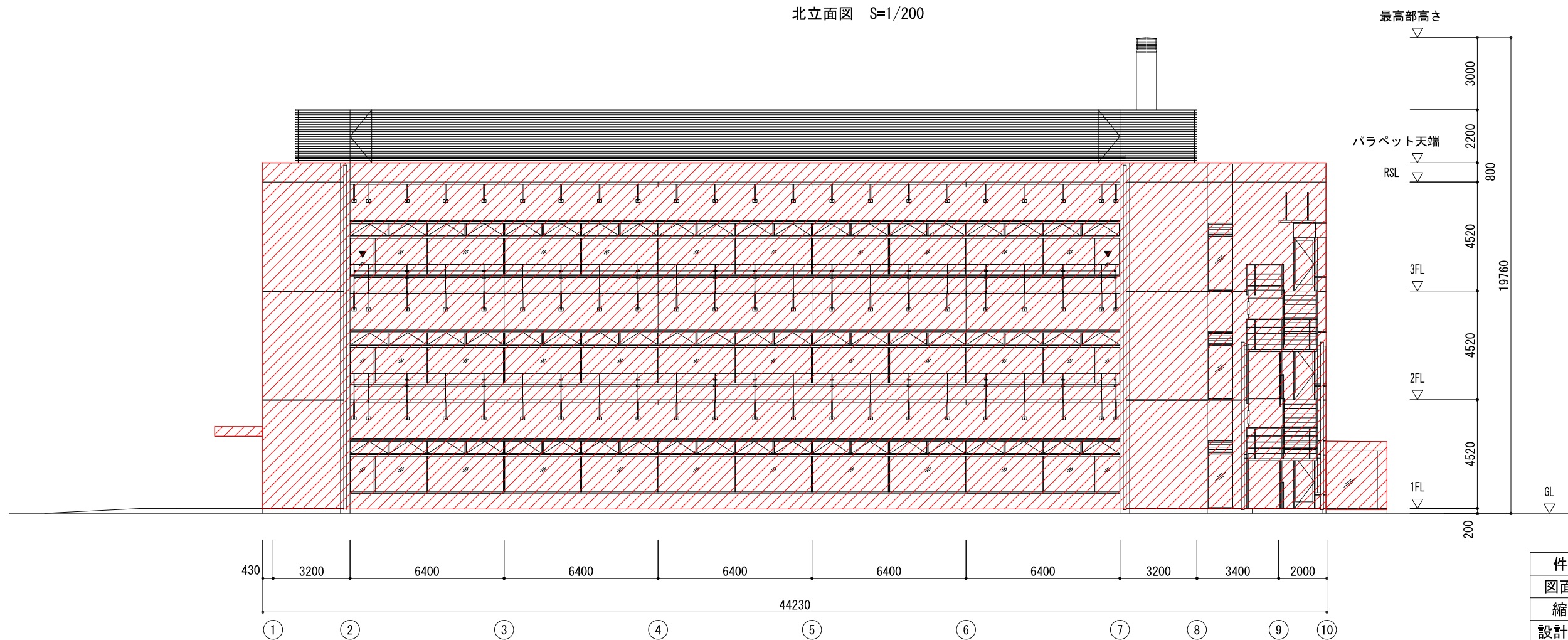
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	2階平面図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8 月	図面番号	03
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	3階平面図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和7年8月	図面番号	04
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

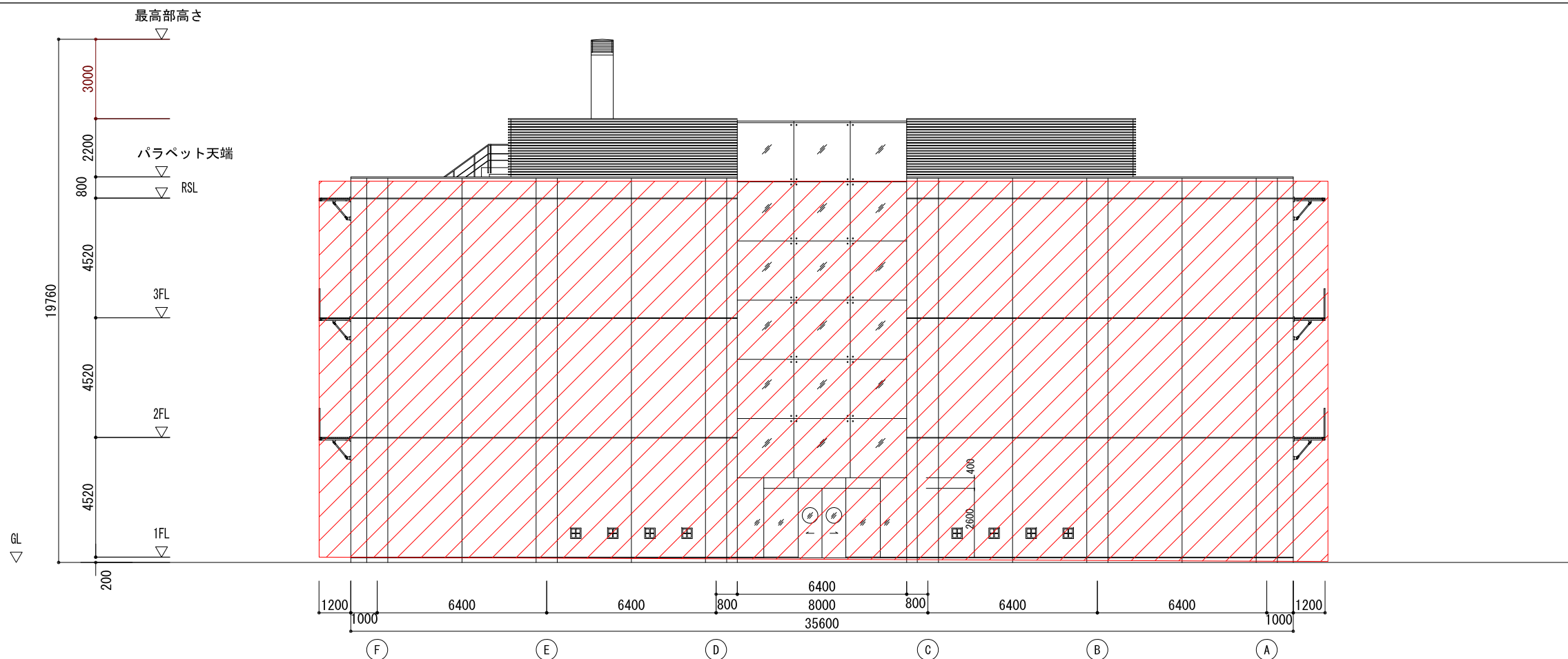


北立面図 S=1/200

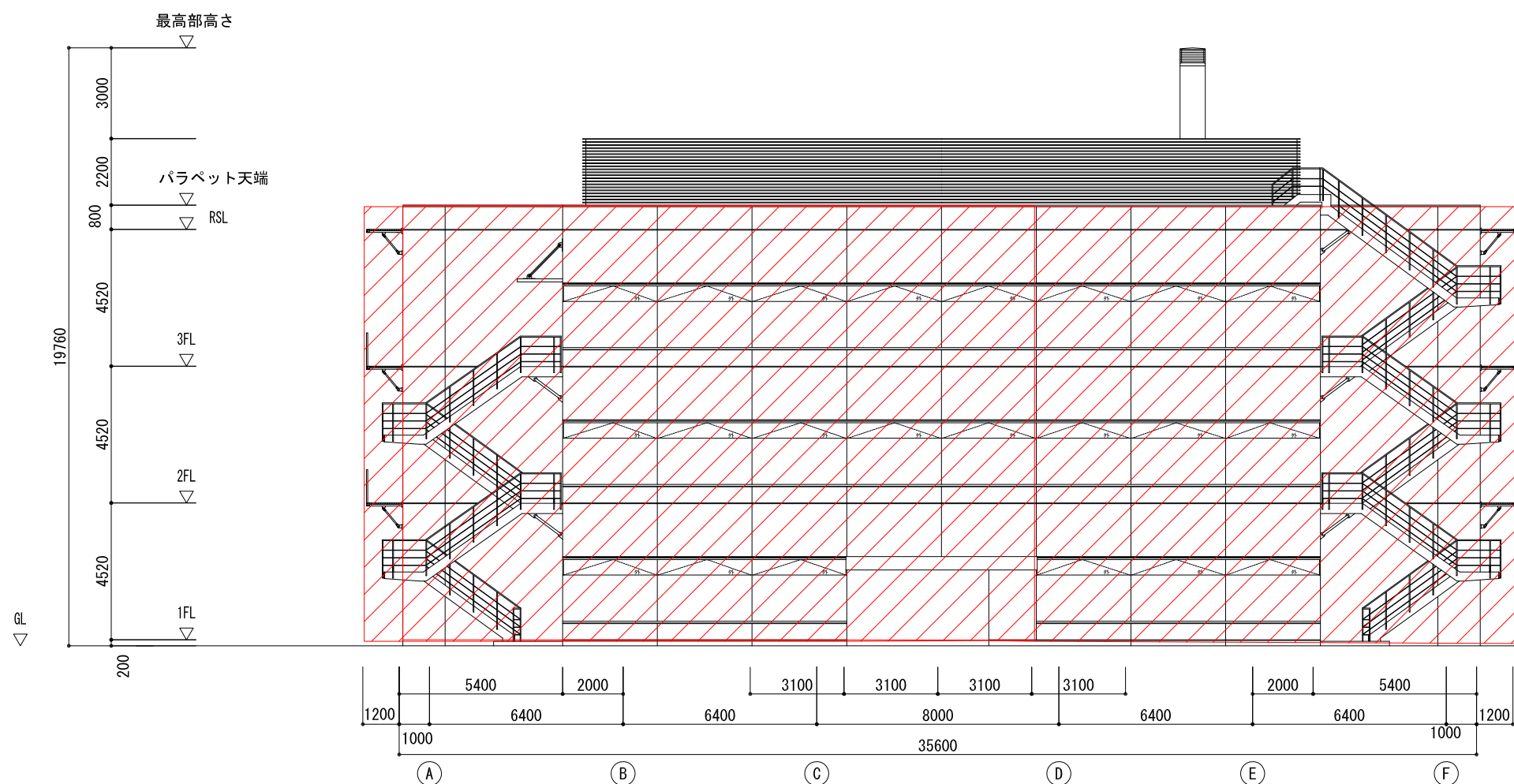


南立面図 S=1/200

件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	北・南立面図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年8月	図面番号	05
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



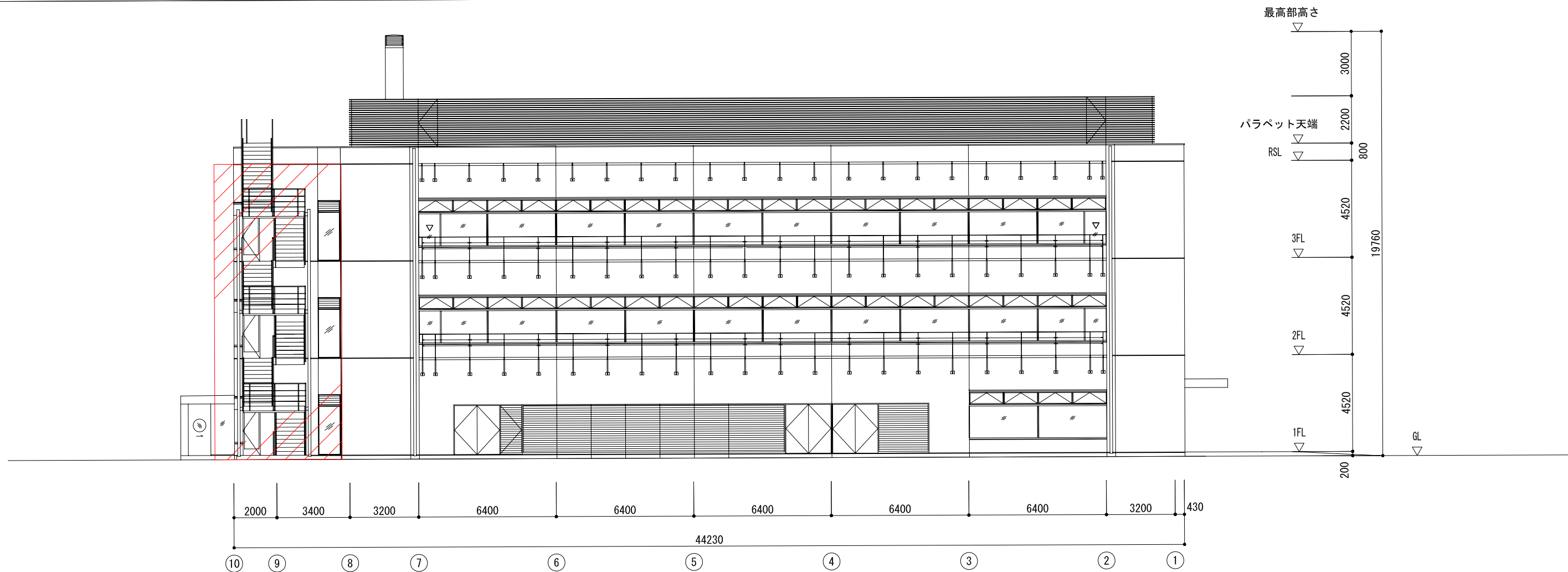
西立面図 S=1/200



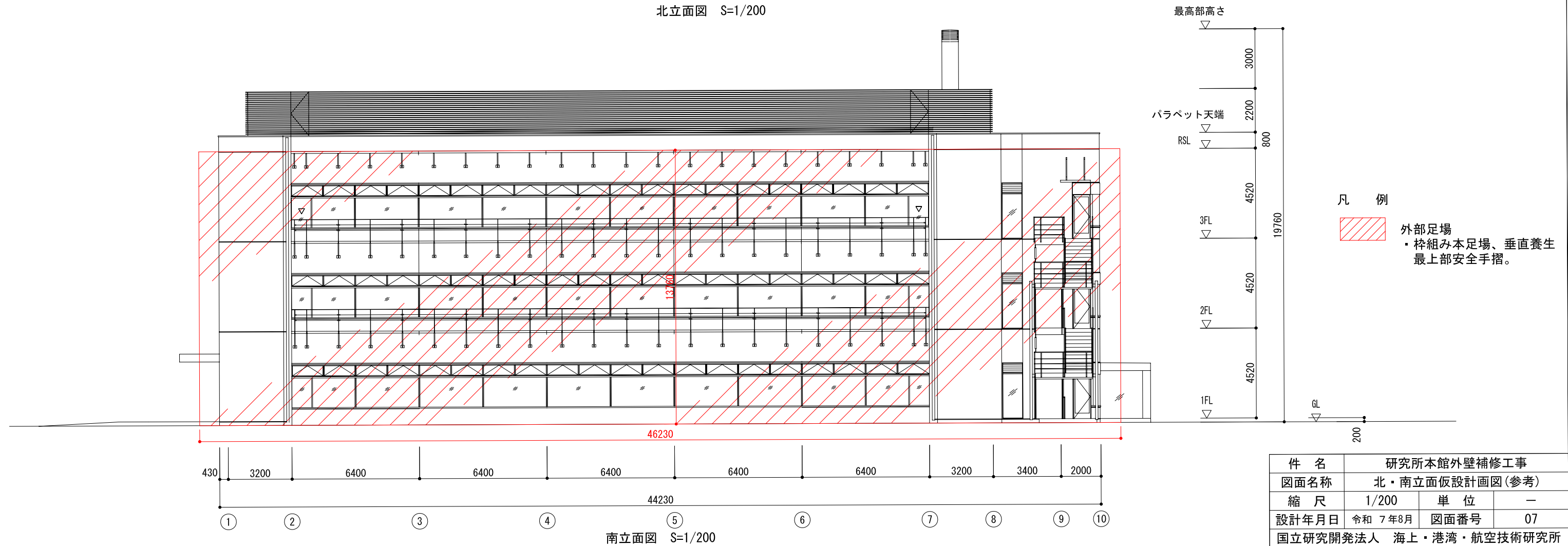
東立面図 S=1/200

工事対象部分を示す

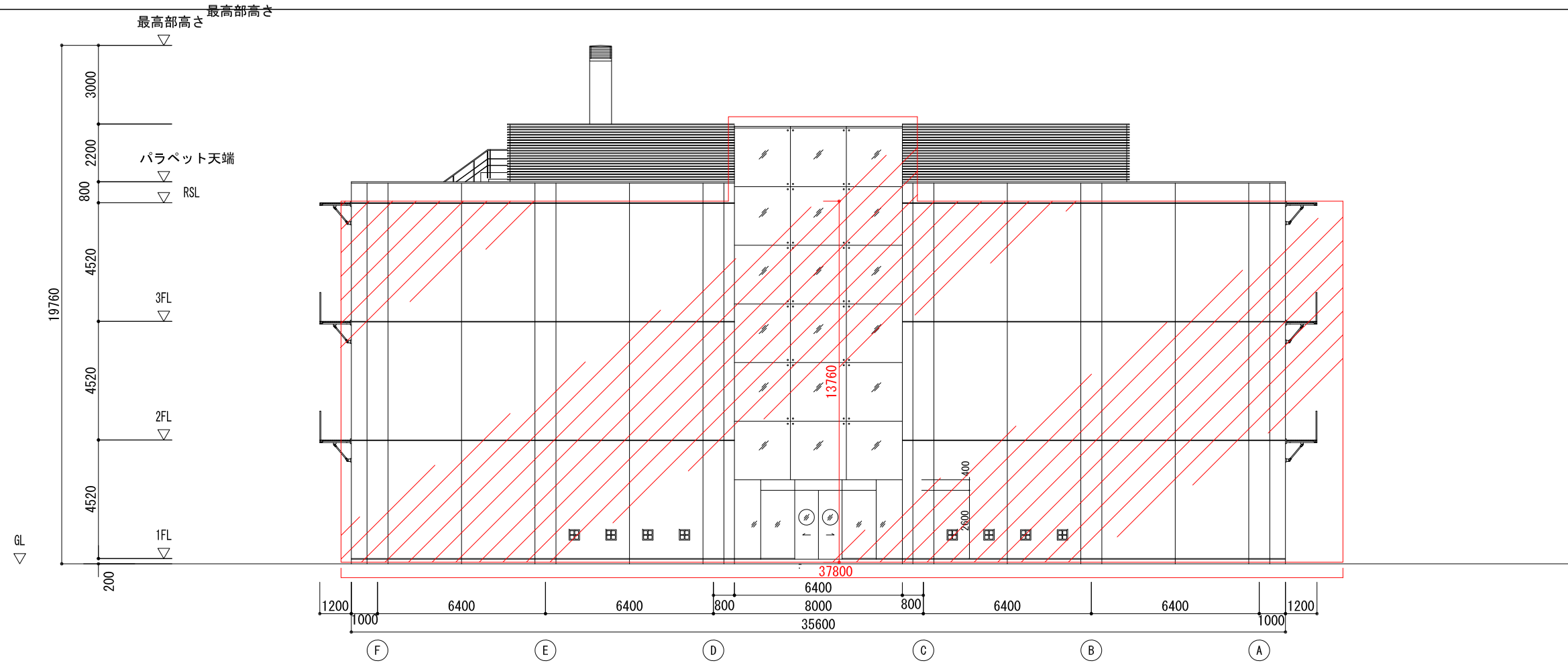
件名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	東・西立面図		
縮尺	1/200	単位	—
設計年月日	令和 7年8月	図面番号	06
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



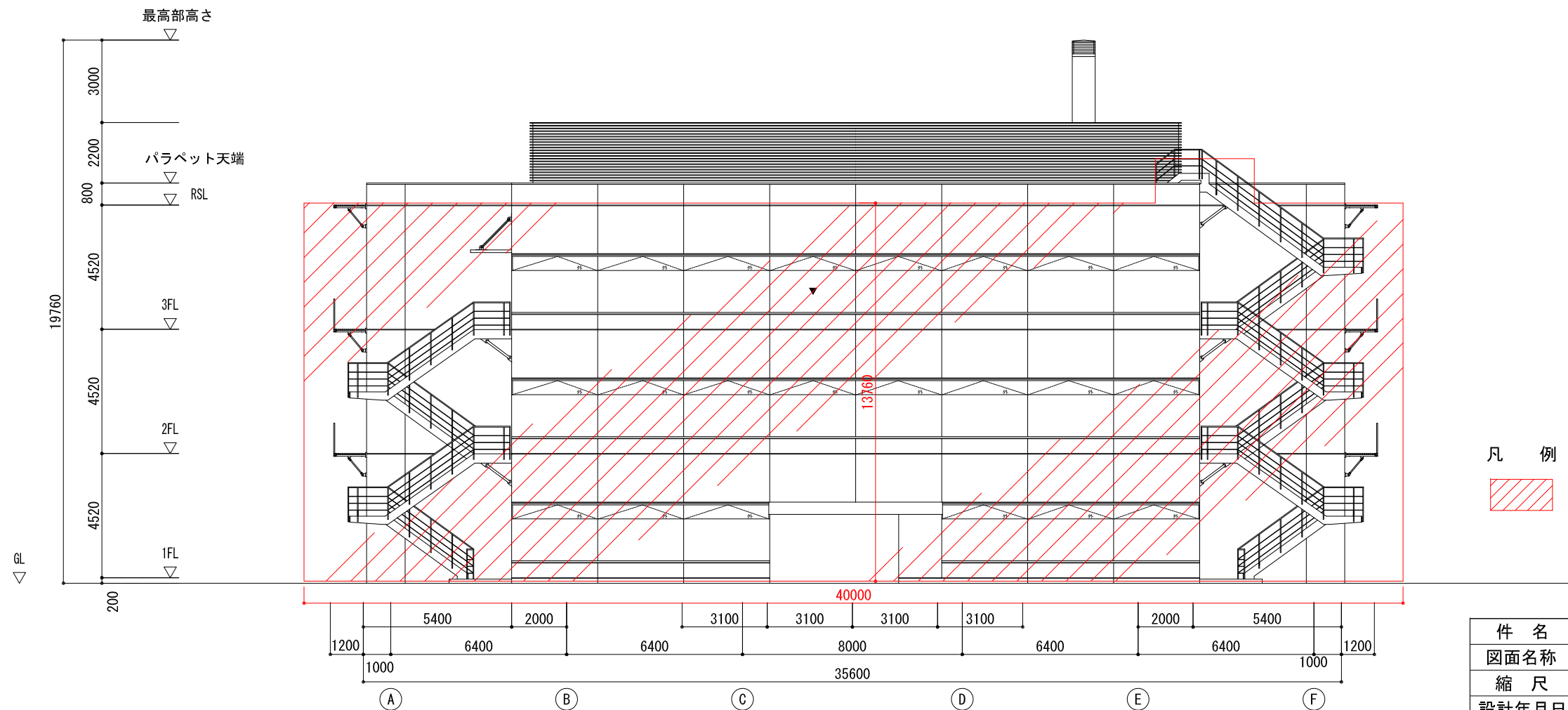
北立面図 S=1/200



南立面図 S=1/200



西立面図 S=1/200

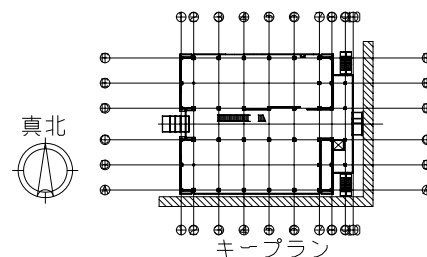
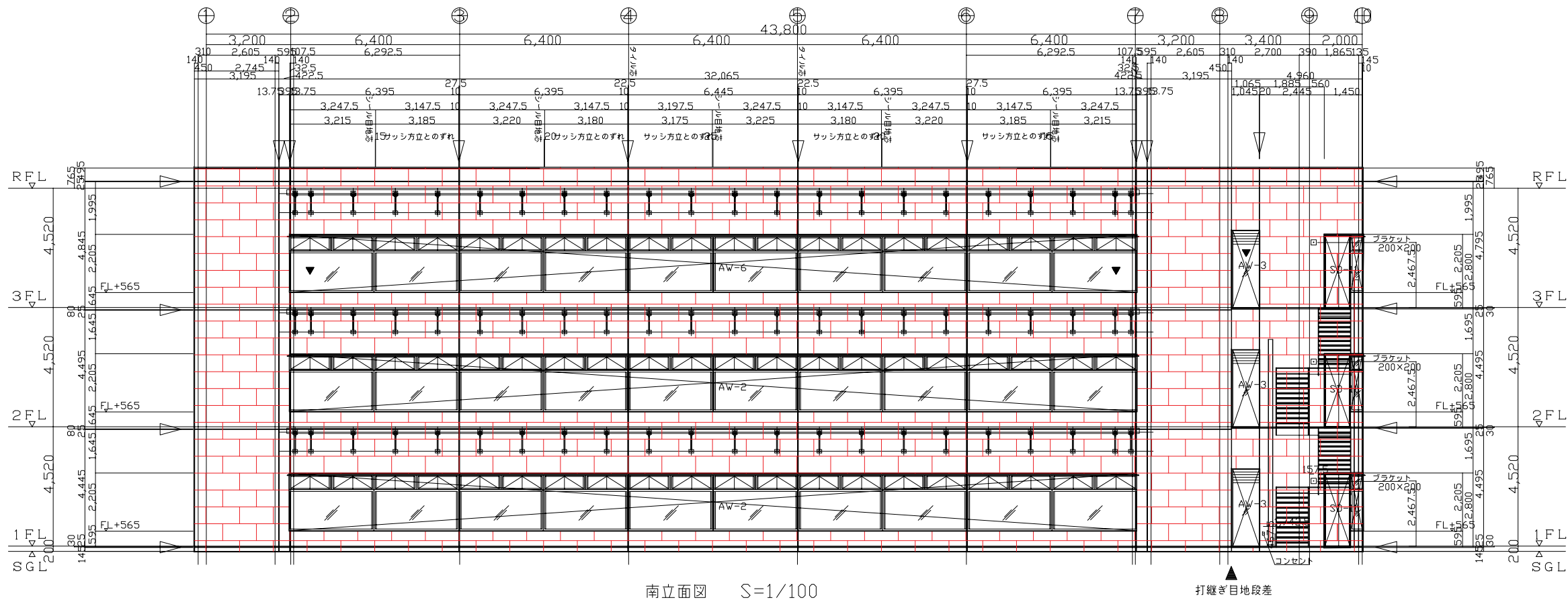
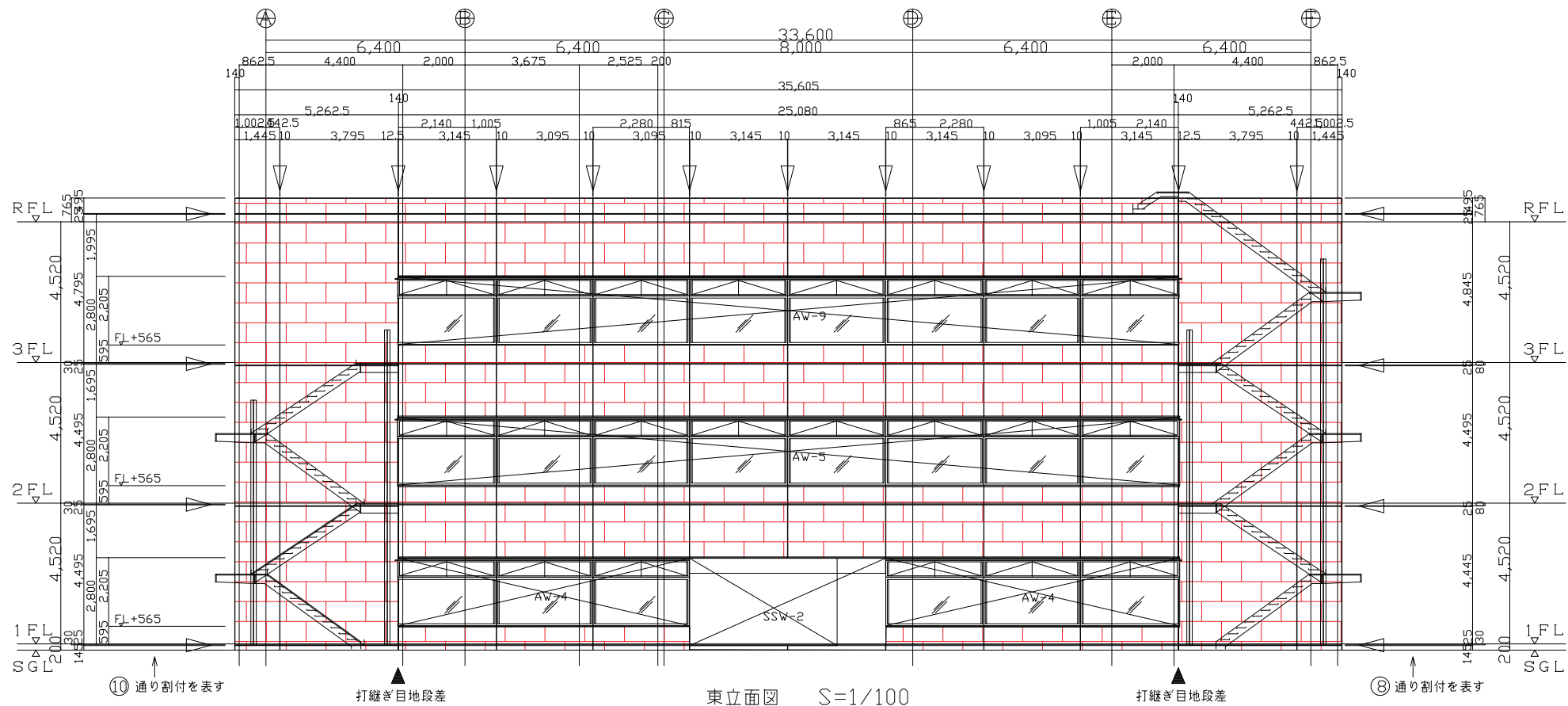
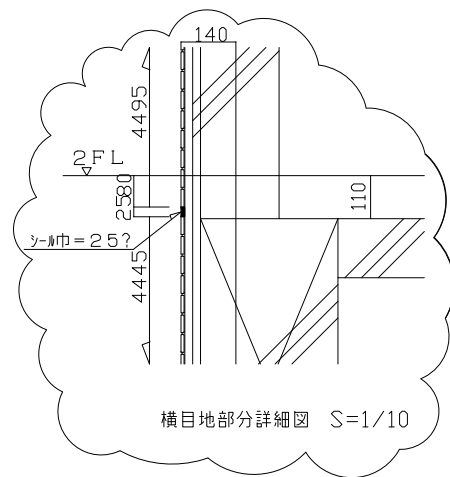


東立面図 S=1/200

凡 例

外部足場
・ 枠組み本足場、垂直養生
最上部安全手摺。

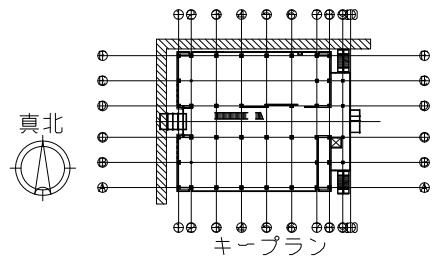
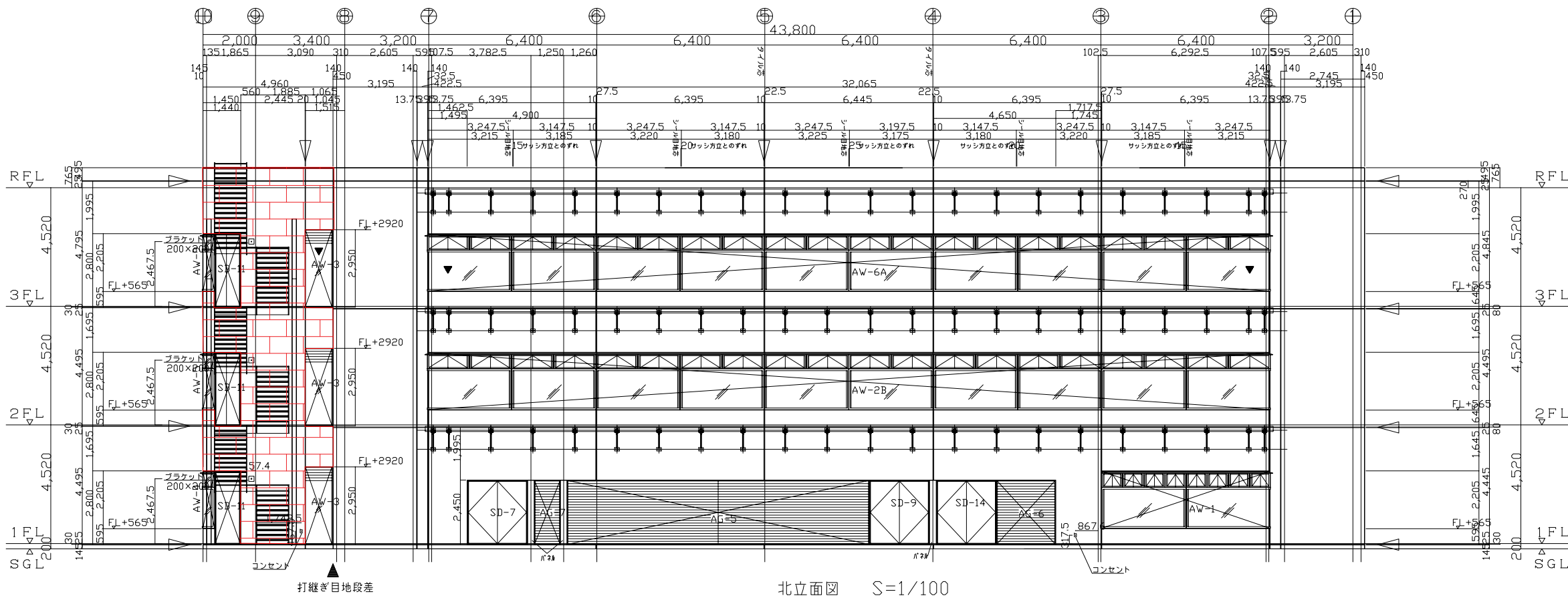
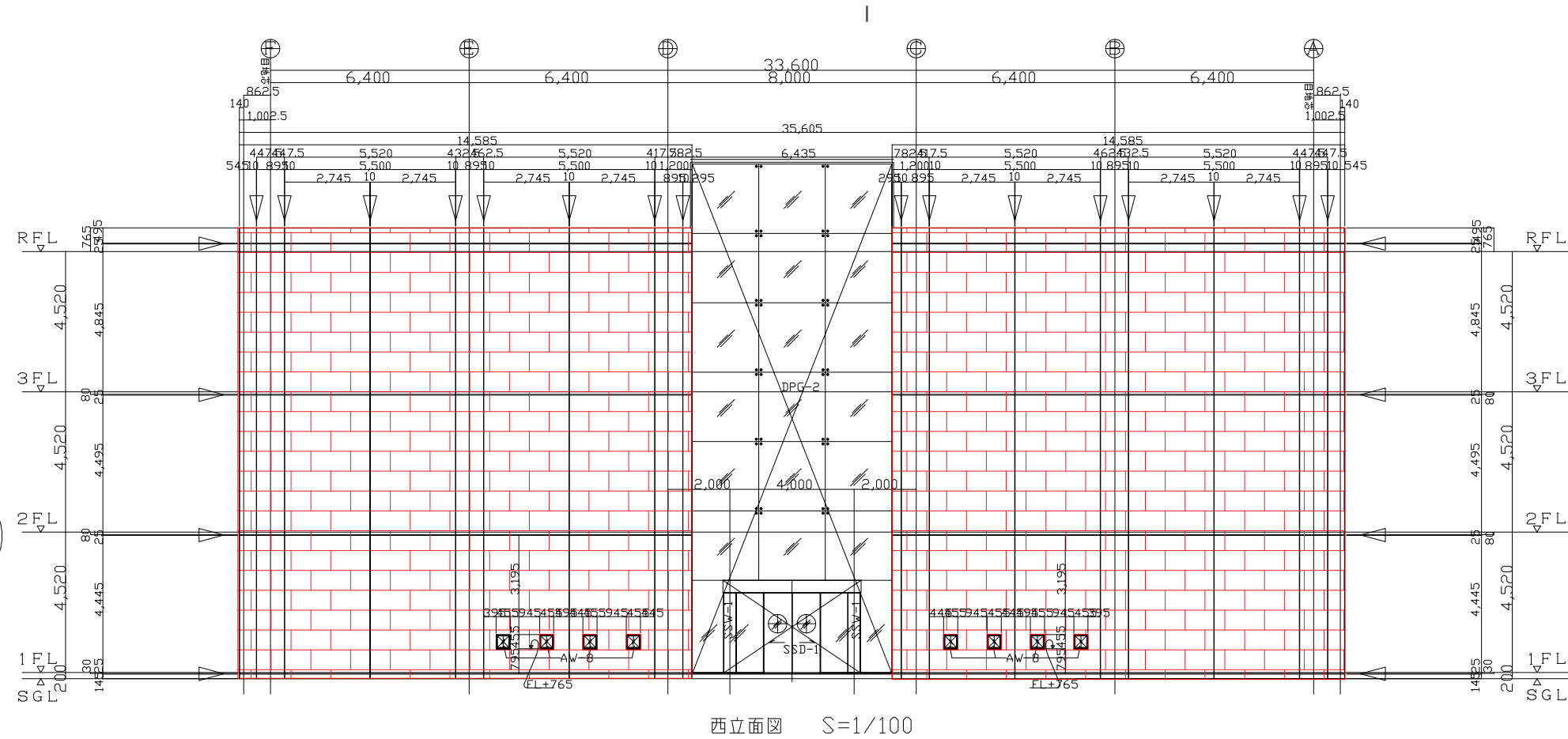
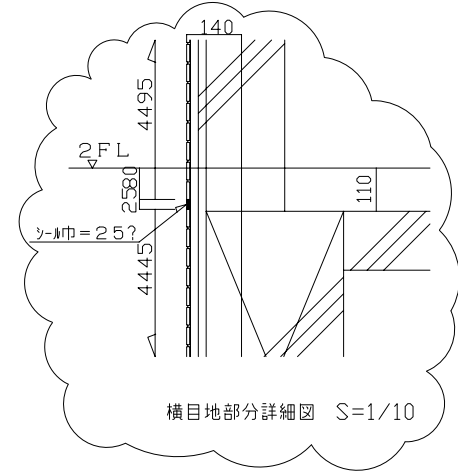
件 名	研究所本館外壁修理補修工事		
図面名称	東・西立面仮設計画図(参考)		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	08
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



- 共通事項及び凡例
1. 1FL=SGL+200
 2. 2・3・RFL=1・2・3FL+4520
 3. 外壁タイルは45角(目地こみ50角)
 4. マークは壁目地シール(巾=10~20?)
 5. 各階打継ぎは横目地シール(巾=25?)
 6. 外壁のサッシ関係の納め方は、別詳細図を参照のこと

メンテナンスバルコニー関係は、躯体図 又は金物制作図を参照して下さい

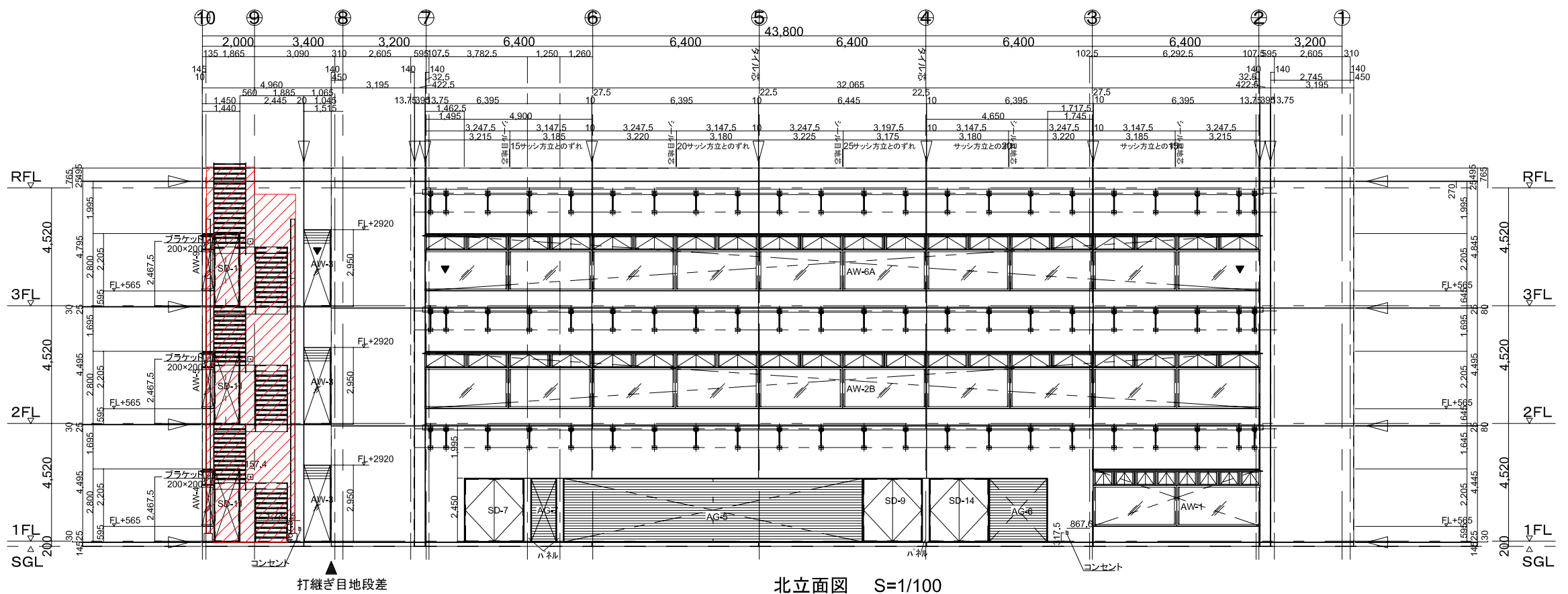
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	東・南立面外壁タイル図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	09
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



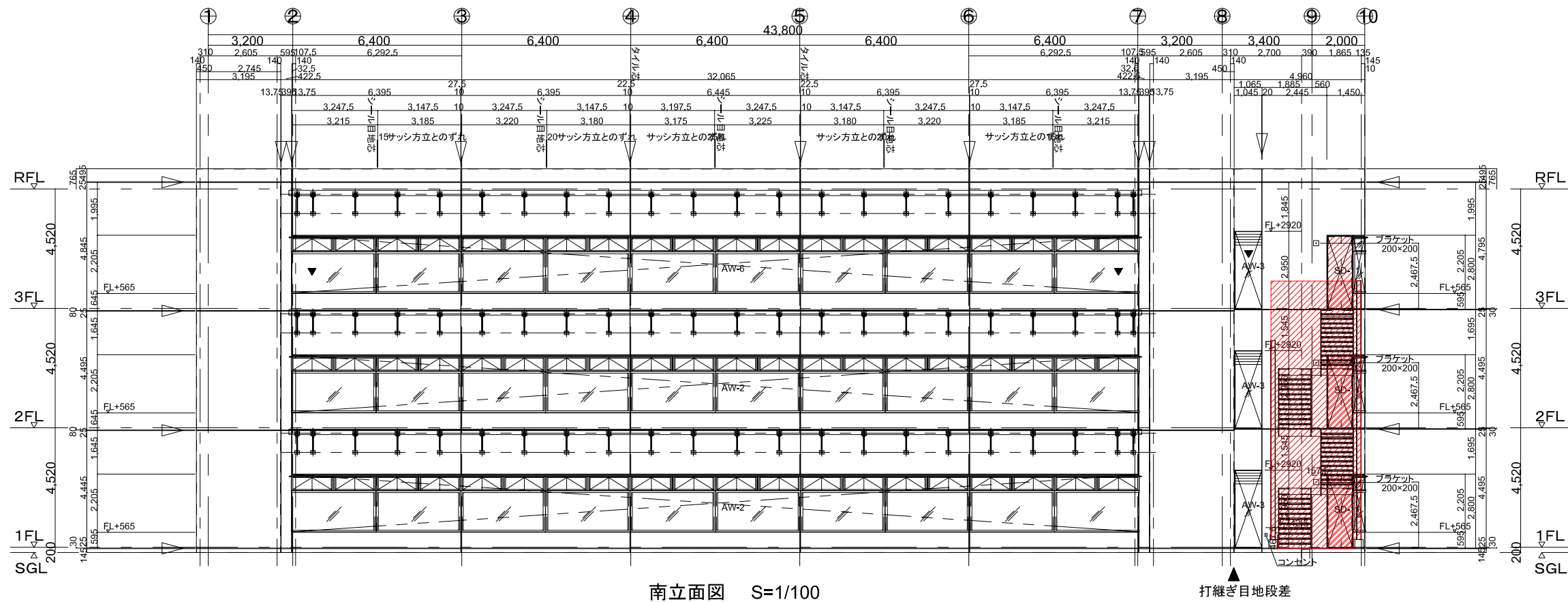
- 共通事項及び凡例
1. 1FL=SGL+200
 2. 2・3・RFL=1・2・3FL+4520
 3. 外壁タイルは45°角(目地こみ50°角)
 4. 一マークは堅目地シール(巾=10~20?)
 5. 各階打継ぎは横目地シール(巾=25?)
 6. 外壁のサッシ関係の納め方は、別詳細図を参照のこと

メンテナンスバルコニー関係は、躯体図 又は金物制作図を参照して下さい

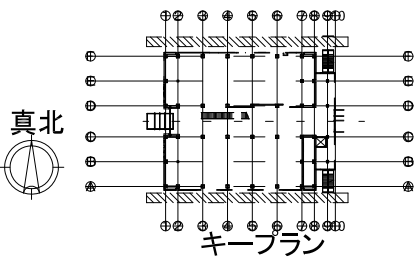
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	西・北立面外壁タイル図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	10
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



北立面図 S=1/100

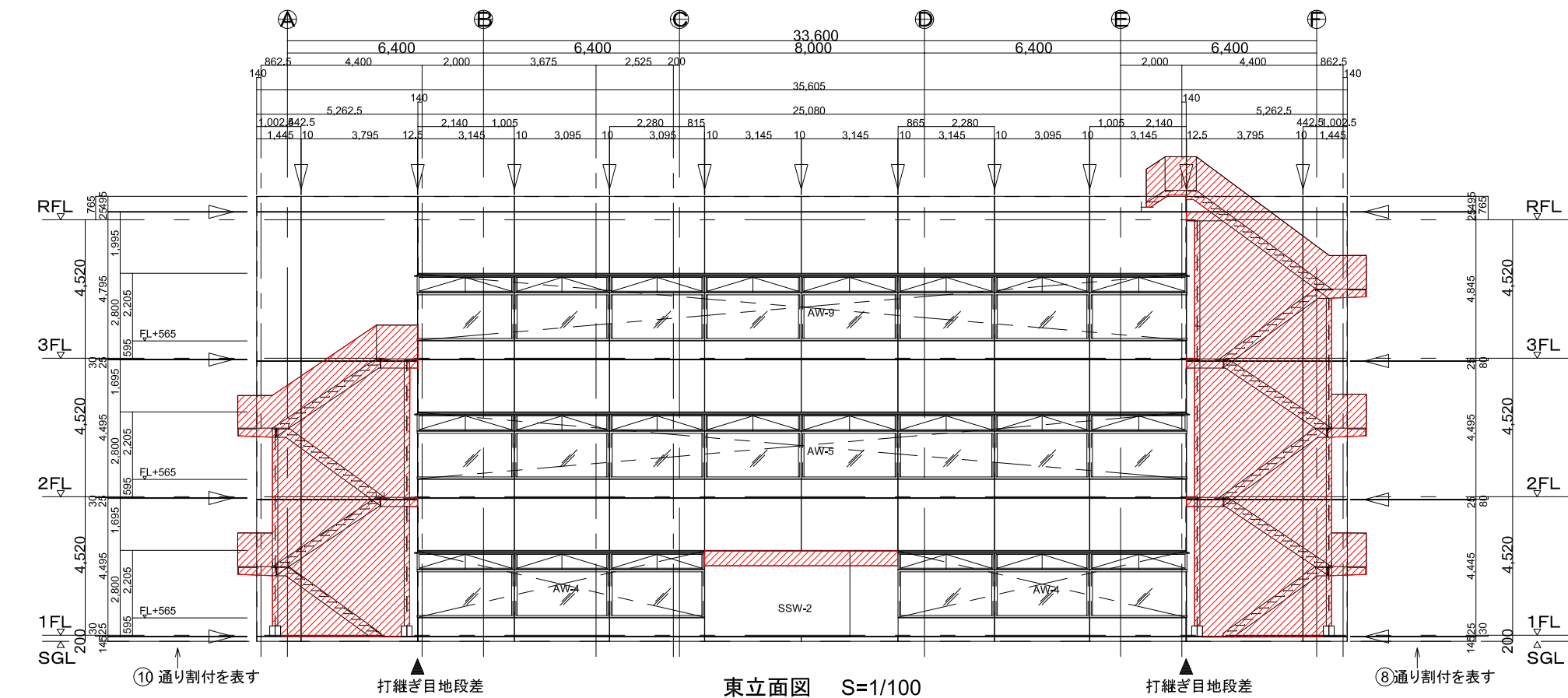


南立面図 S=1/100

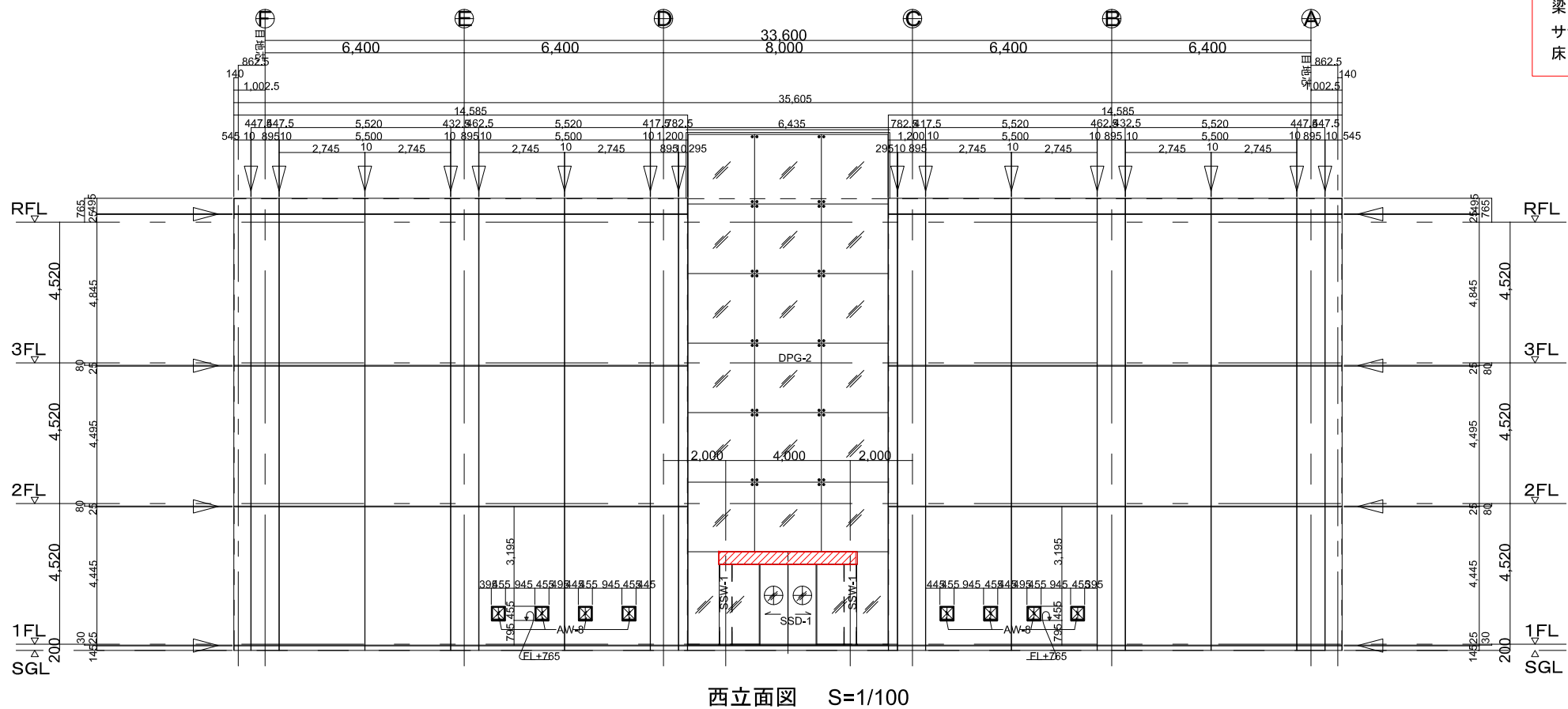


メンテナンスバルコニー関係は、躯体図 又は金物制作図を参照して下さい

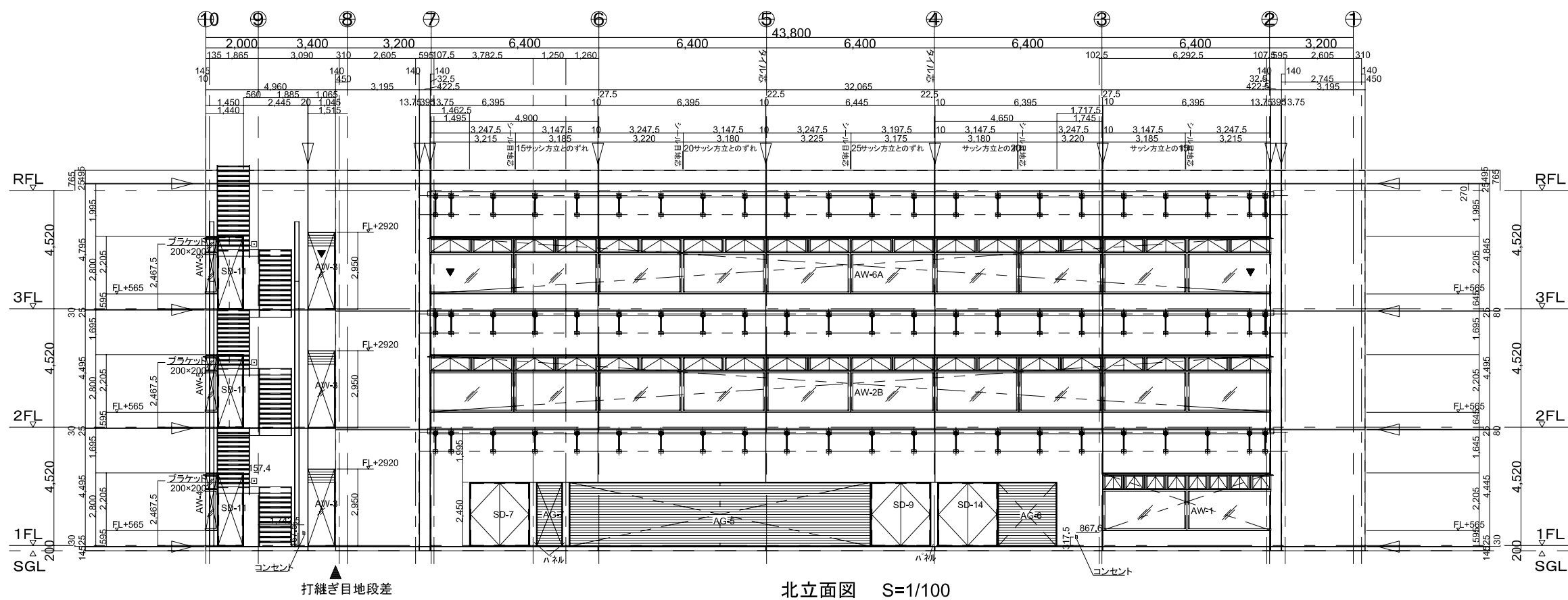
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	南・北立面塗装図		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	11
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



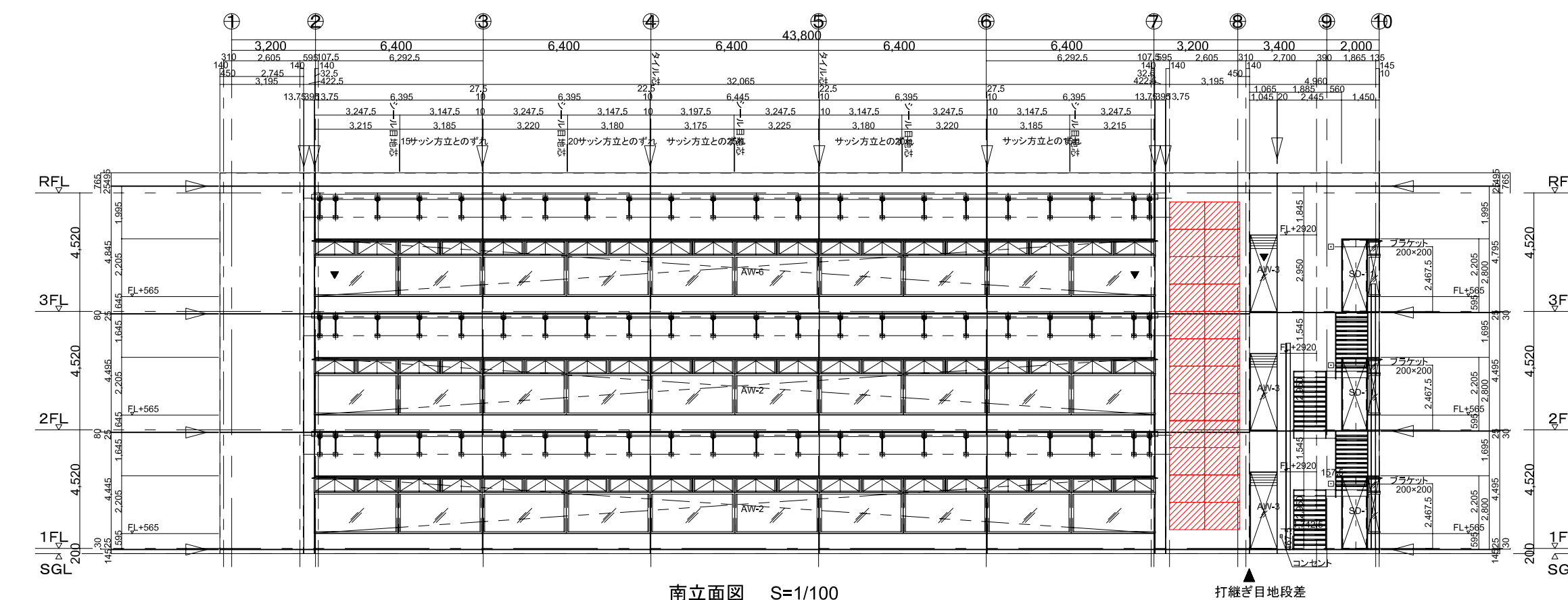
鉄骨階段仕様
柱 : H-175X175
梁 : H-200X150
ササラ桁 : H=300
床、踏面 : 縞鋼板



件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	東・西立面塗装図(参考)		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	12
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



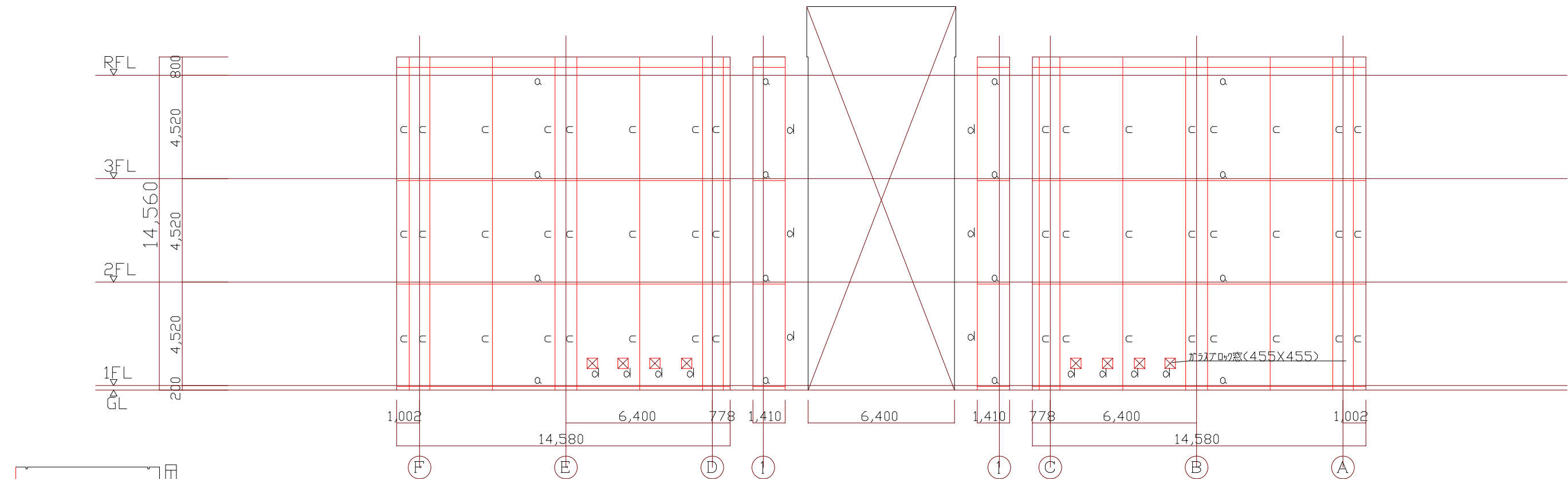
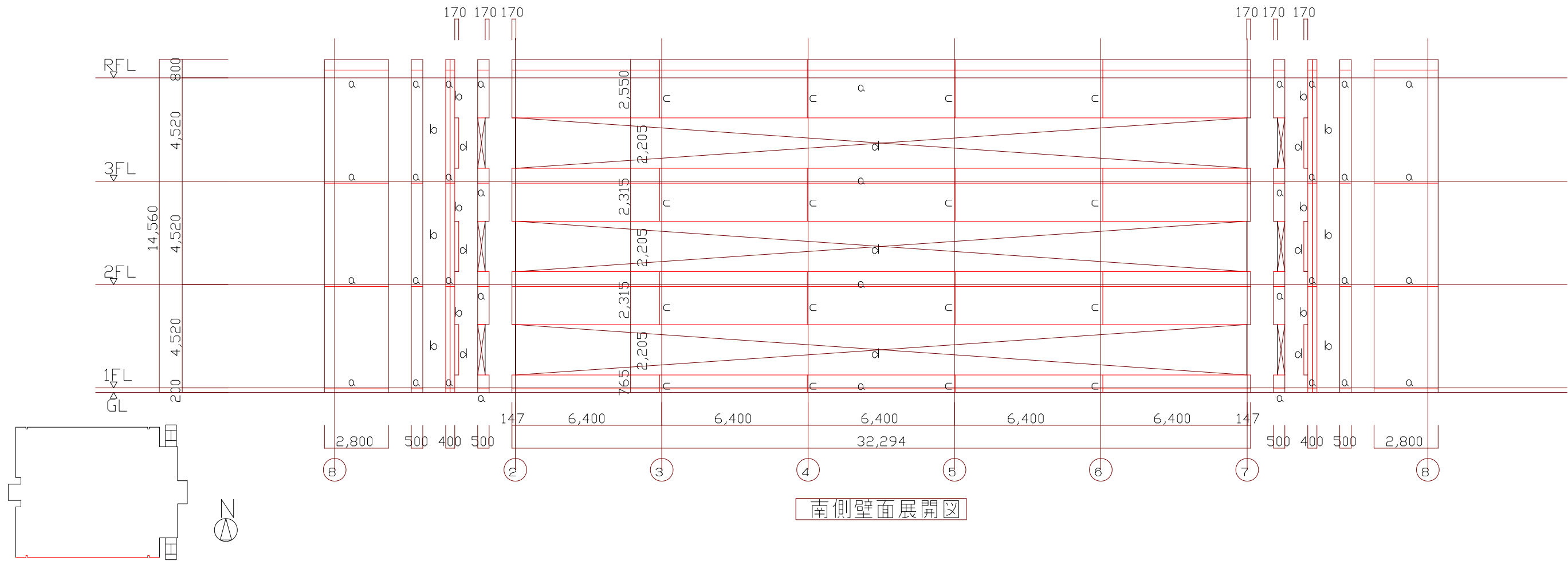
北立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

メンテナンスバルコニー関係は、躯体図 又は金物制作図を参照して下さい

件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	太陽光パネル撤去・設置		
縮 尺	1/200	単 位	—
設計年月日	令和 7年 8月	図面番号	13
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

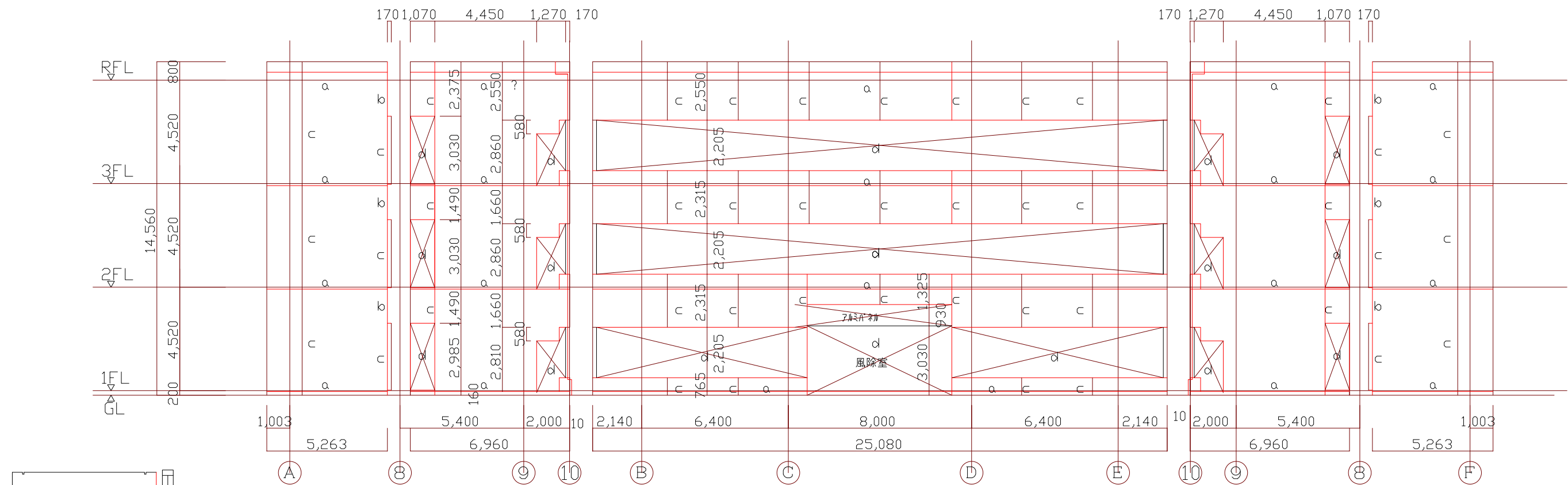


- 凡例
- 打換え外壁タイル伸縮目地を示す（数値はリスト番号）
 - 縦樋（ステンレス製100φ）
 - ⊠ 開口部（アルミサッシ等）、金属パネル部分を示す
- その他部分はタイル仕上

件名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	外壁タイル面展開図 1		
縮尺	1/200	単位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	14
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

目地リスト

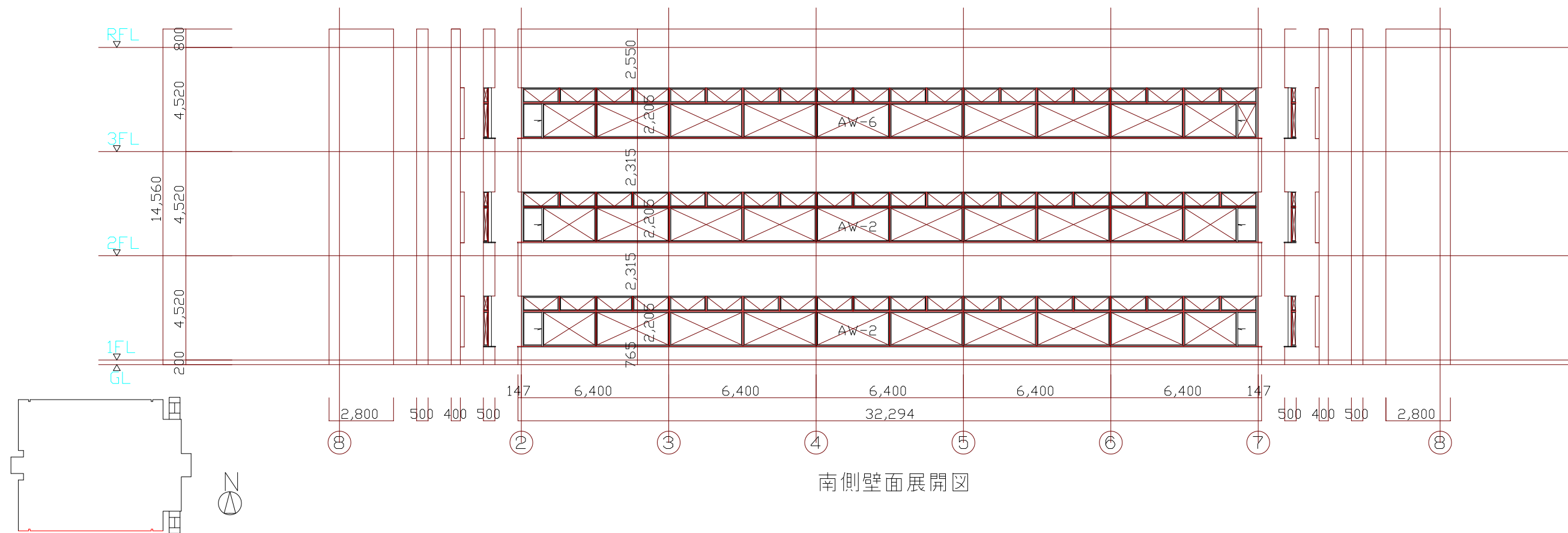
- a 壁タイル伸縮横目地 W=25
- b 壁タイル伸縮縦目地（隅角部） W=15
- c 壁タイル伸縮縦目地 W=15
- d 建具、タイル間目地 W=15



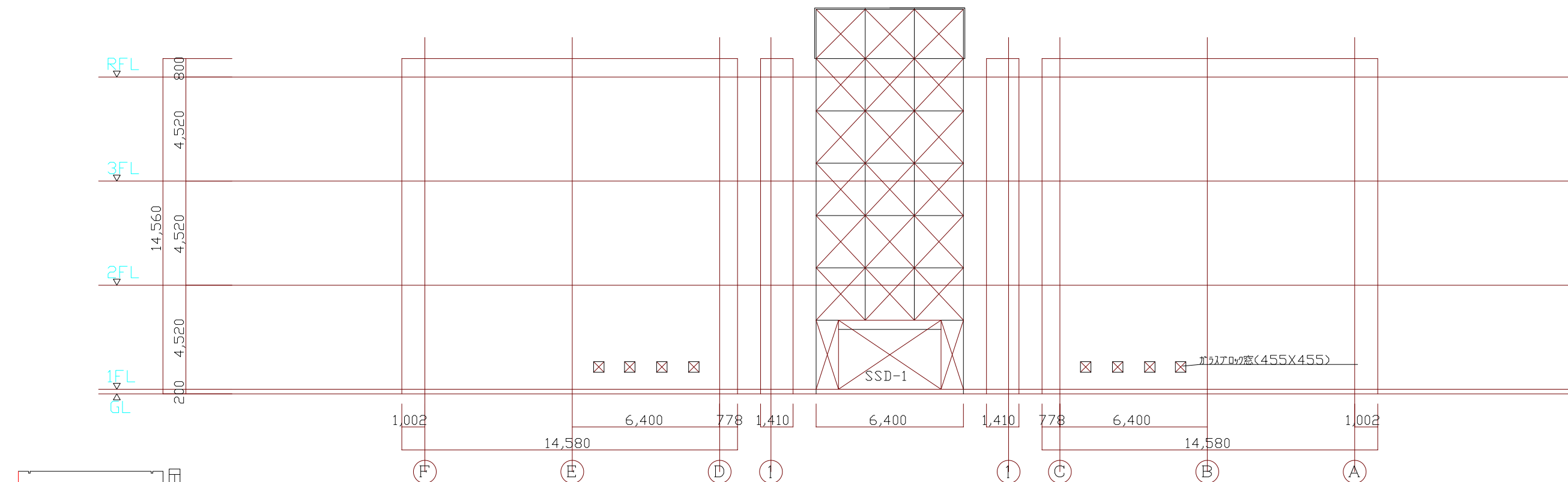
東側壁面展開図

- 凡例
- 打換え外壁タイル伸縮目地を示す（数値はリスト番号）
 - 縦樋（ステンレス製100φ）
 - 開口部（アルミサッシ等）、金属パネル部分を示す
- その他部分はタイル仕上

件名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	外壁タイル面展開図2		
縮尺	1/200	単位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	15
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



南側壁面展開図



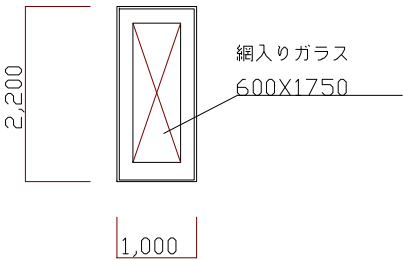
西側壁面展開図

- 凡例
- 鋼製建具等接続部打換え縮目地を示す
 - 開口部（アルミサッシ等）、金属パネル部分を示す
 - その他部分はタイル張り

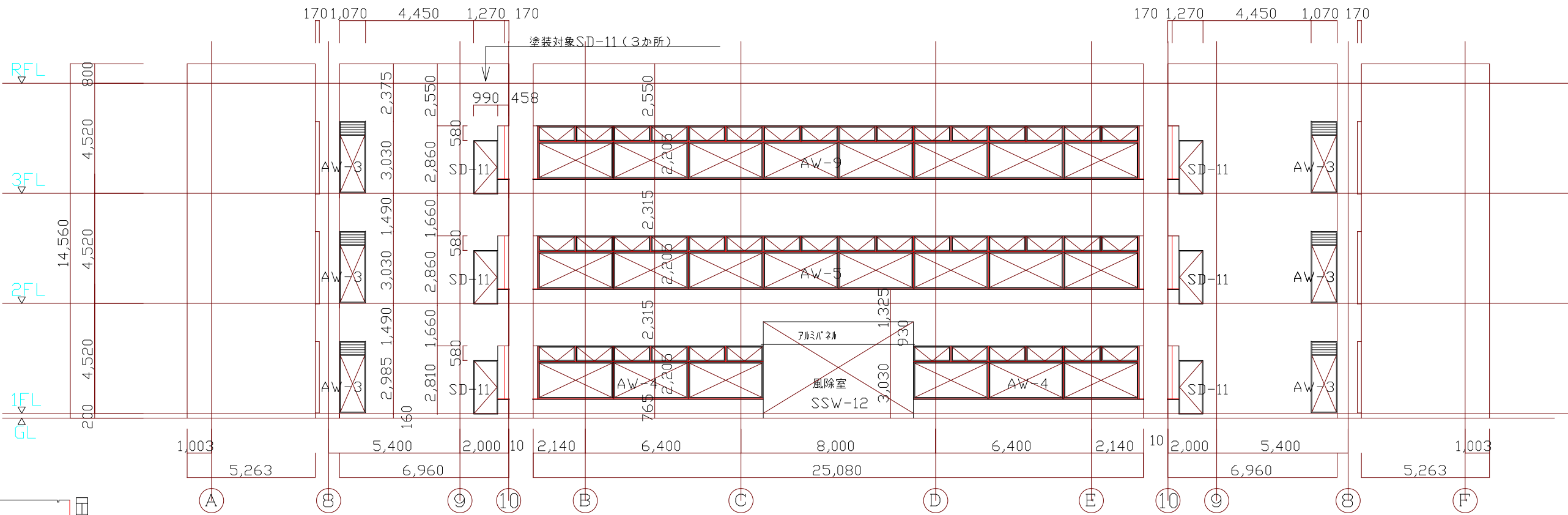
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	外壁開口部展開図 1		
縮 尺	1/200	単 位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	16
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			

開口図建具リスト

AW-2、AW-6	Fix透明ガラス入り窓（一部片引き戸）、欄間透明ガラス入り外倒し排煙窓
AW-4、AW-5、AW-9	Fix透明ガラス入り窓、欄間アルミ板入り外倒し排煙窓
AW-3	Fix透明ガラス入り窓（一部ガラリ）
SD-11	片開き鋼製ドア



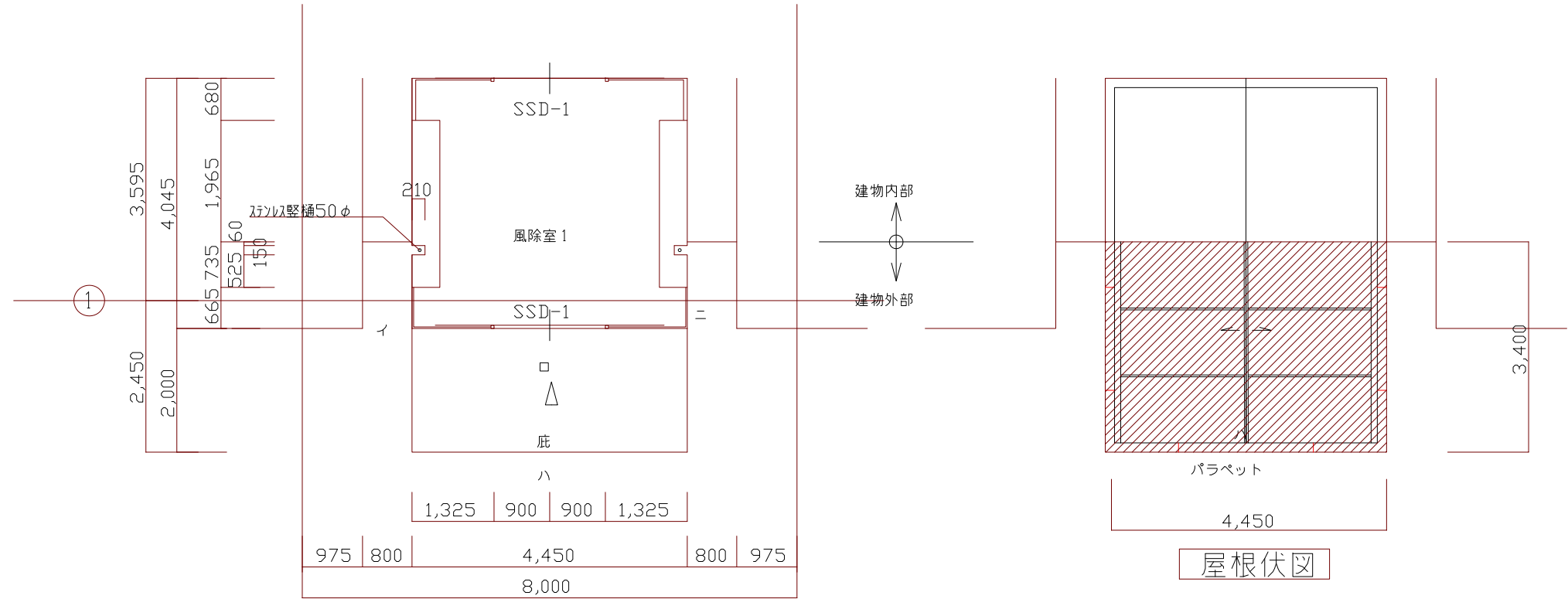
SD-11姿図 1/100



東側壁面展開図

- 凡例
- 鋼製建具等接続部打換え縮目地を示す
 - 開口部（アルミサッシ等）、金属パネル部分を示す
 - その他部分はタイル張り

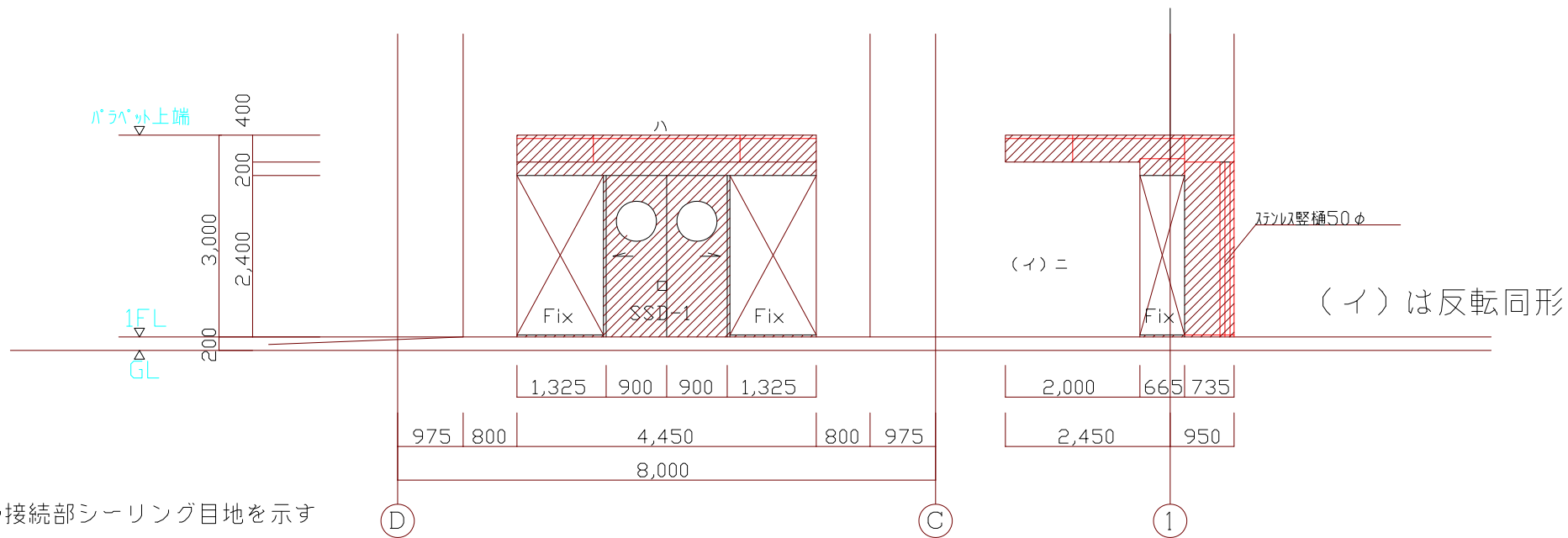
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	外壁開口部展開図2		
縮 尺	1/200	単 位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	17
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



西面玄関風除室平面図

屋根伏図

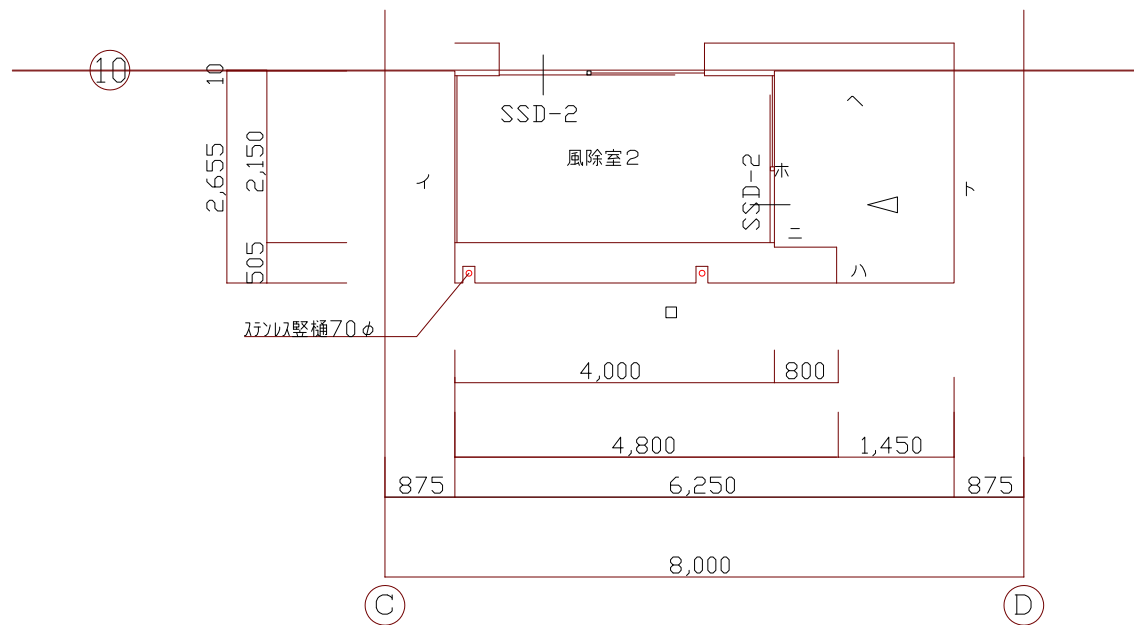
庇天井伏図



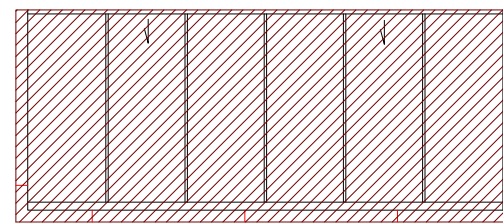
外壁面展開図

- 凡例
- 打換え外壁銅製パネル接続部シーリング目地を示す
 - 縦樋（ステンレス製50φ）
 - Fixガラス部分を示す
 - 本工事塗装部分を示す（既存焼付塗装）
 - SSW扉は内部も塗装（2か所）

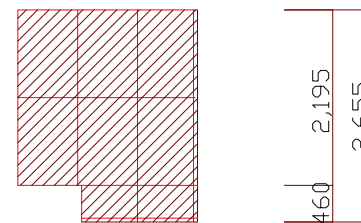
件 名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	西面玄関風除室 1		
縮 尺	1/100	単 位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	18
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			



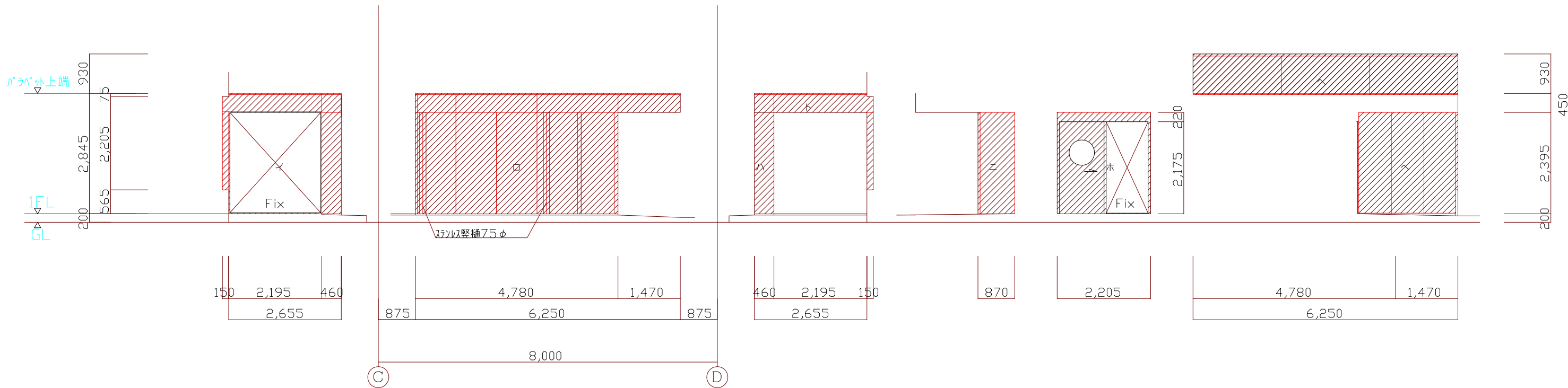
西面玄関風除室平面図



屋根伏図



底天井伏図



外壁面展開図

- 凡例
- 打換え外壁銅製パネル接続部シーリング目地を示す
 - 縦樋（ステンレス製70φ）
 - ⊠ Fixガラス部分を示す
 - ▨ 本工事塗装部分を示す（既存焼付塗装）
- SSW扉は内部も塗装（2か所）

件名	研究所本館外壁補修工事		
図面名称	東面玄関風除室2		
縮尺	1/100	単位	
作成年月	令和7年8月	図面番号	19
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所			